

盛岡地本
釜石支部の
たたかい

地方ローカル線を守る たたかひのモデルケースとして 地域の皆さんと連帯！

復旧した鉄路への責任
を果たすため、三陸鉄
道へ出向

私たちが釜石支部は、
これまで土砂崩壊に伴
う岩泉線の廃線や、東
日本大震災の影響に伴
う山田線の宮古・釜石
間と宮古駅の三陸鉄道
への移管、駅や工務職
場の委託、乗務員職場
の廃止等々、多くの自
然災害と会社施策によ
って職場と仕事が大
きく縮小されてしま
った。

私たちは現在、組合
員の雇用場の確保と
復旧した鉄路への責任
を果たすために、会社
による三陸鉄道への人
的支援策に応じて、15
名の組合員と三陸鉄道
に出向しています。こ
の間、三陸鉄道出向者
へ全国の仲間から物心
両面での激励をいただ
きました。改めて、こ
の間の支援に感謝を申
上げます。

震災復旧の教訓を、ロ
ーカル線を守るたたか
いへ活かす

現在、大きな課題と
なっている地方ローカ
ル線の見直しについ
て、釜石支部は大きな
危機感を持っていま
す。組合員の雇用と仕
事がどうなるのか、生
活場所が何処に変わっ

てしまうのか、地域の
衰退につながってしま
うのではないかと、不
安は後を絶ちません。
釜石支部内には、土
砂崩壊で廃線となった
JR岩泉線と、東日本
大震災により被災した
JR山田線がありまし
た。山田線は、釜石支
部と連帯する市民の
方々が結成した「JR
山田線を守る市民の
会」の長く地道な活動
により、三陸鉄道への
移管とはなったものの
鉄路での復旧となり、
地域へ鉄路を残すと共
に組合員の雇用場の
確保することができま
した。その経験と教訓
から、今回の「地方ロ
ーカル線を守るたたか
い」も釜石支部が牽引
していくべきだと考
え、支部内での議論を
重ねてきました。

しかし、釜石支部は
会社の職場再編施策に
よる多くの職場が廃止
となり、現在24名の組
合員しかいません。ま
た、その多くが出向者
やエルダー組合員とい
う厳しい現実がありま
す。当初は「今の釜石
支部の組織的体力では
無理だ」「全社的な重
く大きな課題であり釜
石支部だけ頑張っても
仕方が無い」というよ
うな否定的な意見も出
されました。しかし、

3. 11後に結成し、山
田線の三鉄移管後は
「地方ローカル線を守
る市民の会」へと名
称変更した「市民の
会」という組織が存在
している中で、私たち
が今回のたたかひのモ
デルケースになろうと
議論し、強い覚悟を持
ち、私たちがたたか
いを推し進めていくこ
と意思統一しました。

現在、そのたたかひ
は市民の会の皆さん
をはじめ、連帯してく
ださる関係議員、連
合、交運労協、支部
OB会、転動していっ
た元釜石支部の組合員
（当時）は、「インシデ
ント等が発生させた運
転士にペナルティと受
け取られることのある
日勤教育又は懲戒処分
等（中略）を行うとい
う同社の運転士管理方
法が関与した可能性が
考えられる」と結論づ
けました。

しかし今回の国府
津運輸区では、本人
が「遅れの時間が気に
なっていた」と言えは
「自分ファーストだ」と
一蹴され、その後「基
本動作ができていな
かった」と答えると指導
担当の求める通りの回
答だったのか顔色が変
わり、2日目で事象の
掘り下げが終わりまし



国府津運輸
区分会の
たたかい

人格否定・人格破壊の懲罰的な ハラスメント教育を許さない！

2022年12月5
日、熱海駅において停
止状態で起動する事象
が発生し、国府津運輸
区の乗務員（以下、本
人）に対し長期にわた
り懲罰的・見せしめ的
な日勤教育が行われて
います。事象の原因究
明や掘り下げは初めの
2日間のみで、以降は
結果から学ばない、時代錯誤のJR東日本
107名の方々の犠
牲にしたJR西日本の
福知山線脱線事故につ
いて、国交省の航空・
鉄道事故調査委員会
（当時）は、「インシデ
ント等が発生させた運
転士にペナルティと受
け取られることのある
日勤教育又は懲戒処分
等（中略）を行うとい
う同社の運転士管理方
法が関与した可能性が
考えられる」と結論づ
けました。

精神的に追い詰めるよ
うな教育や面談が行わ
れ、2度も心を折ら
れ、自殺を考えたまで
に至りました。これ
は、JR西日本で乗務
員を自殺に追いやり、
福知山線脱線事故の原
因となった、懲罰的な
日勤教育と何ら変わり
ません。

また、全国の仲間が
取り組んだ概FAXを
分會掲示板に張り出す
と、一部の指導担当が
添乗中に「復帰の目途
も立って来た矢先なの
にあんな感じでやられ
ると当該運転士も最悪
な結末になる可能性も
ありますよ」と述べま
した。原因究明と対策
に組合掲示板は何も関
係ありません。組合活
動の萎縮を狙った不適
切な行為です。

しかし今回の国府
津運輸区では、本人
が「遅れの時間が気に
なっていた」と言えは
「自分ファーストだ」と
一蹴され、その後「基
本動作ができていな
かった」と答えると指導
担当の求める通りの回
答だったのか顔色が変
わり、2日目で事象の
掘り下げが終わりまし

周囲の指摘により「ハラスメント」を認識 仲間の支えで思いとどまる

本人はここで心が折
れ、年休をとって病院
を受診すると、看護師
から「それってハラス
メントじゃないです
か？」と言われ、初め
て自分の置かれた境遇
を自覚したと言いま
す。12月29日の分會緊
急集会で本人は「日勤
原因究明よりも組合弱体化優先の経営姿勢に危機感を持ち、立ち上がろう！」

また、全国の仲間が
取り組んだ概FAXを
分會掲示板に張り出す
と、一部の指導担当が
添乗中に「復帰の目途
も立って来た矢先なの
にあんな感じでやられ
ると当該運転士も最悪
な結末になる可能性も
ありますよ」と述べま
した。原因究明と対策
に組合掲示板は何も関
係ありません。組合活
動の萎縮を狙った不適
切な行為です。

しかし今回の国府
津運輸区では、本人
が「遅れの時間が気に
なっていた」と言えは
「自分ファーストだ」と
一蹴され、その後「基
本動作ができていな
かった」と答えると指導
担当の求める通りの回
答だったのか顔色が変
わり、2日目で事象の
掘り下げが終わりまし

2023年旗開き

労働組合のないモノ言えぬ職場にしないため、
立ち向かうことを意思統一！

1月12日、目黒さつ
きじルにおいて「20
23年旗開き」を開催
しました。

加藤書記長による基
調報告では、経団連の
言う「ベア」の本質を
見抜くこと、重大事故
前後と言えざる状況の
中、お客さまや組合員
・社員の命を奪
うような会社に
しないためにた
たかうこと、J
R東労組への帰
属意識を高めて
組織強化・拡大
につなげるこ
とを提起しました。

羽越本線列車脱線事故から17年

12月25日、5名のお
客さまが亡くなり、お
客さま31名と乗務員2
名が負傷した「羽越本
線列車脱線事故」から
17年を迎えました。

私たちがこの間、会
社の運行優先体質に向
き合い、「危険と感じ
たら列車を止める」た
めに勇気を持って実践
することを議論し、安
全に対して妥協しない
意志を固めました。



中央地本・新潟地本・本部運輸車両部会では、毎年12月25日に現地に立って慰霊を行ってきましたが、今年については庄内地方での暴風雪に踏まえ、現地での慰霊を見合わせる事となりました。（写真は前年の様子）